

あなたと議会のかけはし

ふだい

# 議会だより

No. 126

平成26年1月30日発行



子ども園で  
元気に遊ぶ園児たち

くろさき荘増額補正 4p

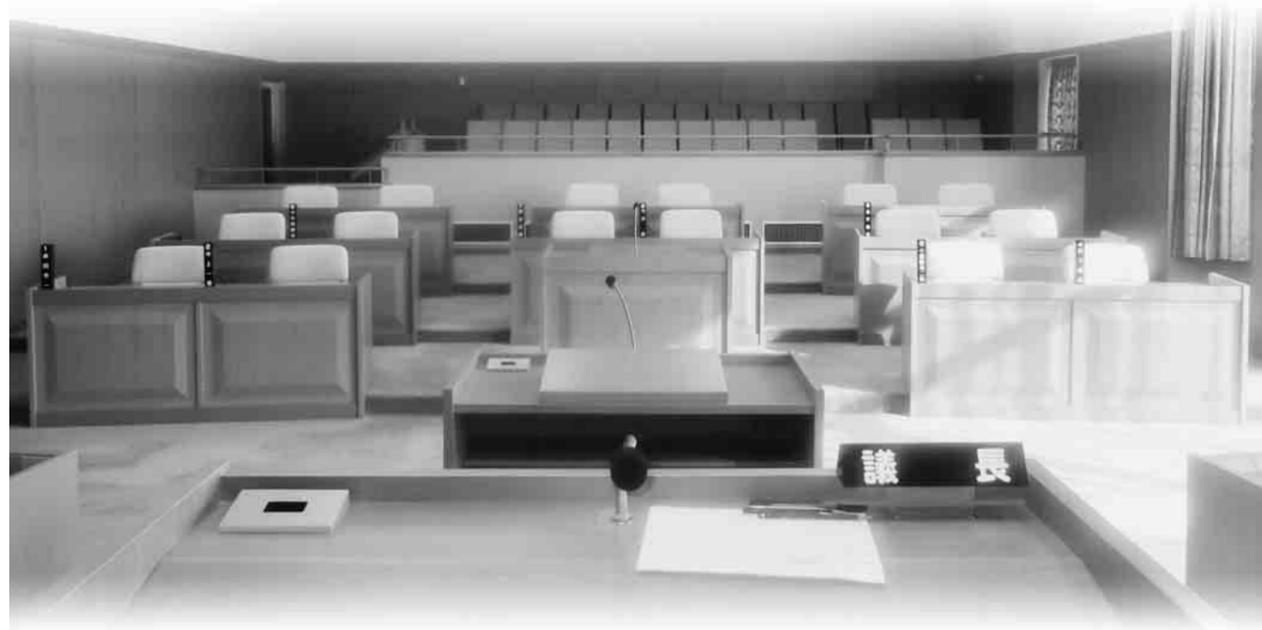
一般質問 7p

復興状況視察 8p

# 新たに決まった 常任委員会

常任委員会等名簿

	議会運営委員会	総務常任委員会	産業経済常任委員会	議会広報常任委員会
委員長	熊谷 有 耕	小屋敷 亮二郎	森 田 幸 一	中 上 一 登
副委員長	中 村 裕	小中居 敏 光	坂 下 重 雄	森 田 幸 一
委 員	森 田 幸 一	中 上 一 登	中 村 裕	坂 下 重 雄
	中 上 一 登	熊 谷 有 耕	金 子 泰 男	小中居 敏 光
	小屋敷 亮二郎			
	坂 下 重 雄			
	小中居 敏 光			



謹んで新春のおよろこびを申し上げます



議長 大上 浩史

副議長 金子 泰男

森 田 幸 一

中 上 一 登

小屋敷 亮二郎

坂 下 重 雄

小中居 敏 光

熊 谷 有 耕

中 村 裕

(議長・副議長の  
ほかは議席順)



## 第8回臨時会

# 解散可決!

## 岩手北部広域環境組合



久慈地区ゴミ焼却場

### 平成25年末解散断念

第8回臨時議会が11月27日に行われました。

主な議案は、岩手北部広域環境組合の解散に係る議決となり、解散関連3議案を可決しました。

ごみの共同処理計画は、久慈、二戸両地域の8市町村で構成しそれぞれの議会に関連議案の可決をし、平成25年中解散の方針でした。

#### 経緯

そもそも広域化に伴う国の交付金を前提に計画を進めてきたはずでした。昨年11月に交付金が平成28年までの時限措置ではないことや、広域化が国の支援要件ではないという問題が浮上。

引き続き検討・協議を進めることになっていたが、岩手北部広域環境組合は平成25年12月31日で解散の方針を決定したという経緯があります。

8市町村の内、九戸村議会のみが解散を否決したため、平成25年末解散は実現しませんでした。

否決の理由は、「二戸地区での取り組みの方向性が決まっていなかった」となっています。

規約により、今後2年間は解散できないということになりました。その間の組合管理の費用などは、各自治体で支払い義務が発生します。

# くろさき荘増築

## 補正額2800万円増

12月定例会は、12月18日に開かれました。一般会計・特別会計補正予算、黒崎漁港施設機能強化（沖防波堤）工事の変更請負契約の締結、条例制定など、提案された12議案を審議しました。その結果、すべて原案のとおり可決し閉会しました。また、一般質問には1名が登壇し、観光・産業振興、小中一貫校建設の検討状況などについて村の考えをいただきました。



建物の右側に新しく増築される食堂・厨房棟

### 展望ある運営計画求める

くろさき荘の増築予算は3月の定例会で1億1千万円の厨房増築予算が可決となっています。3月の予算可決も、今後の運営計画のない予算は承認できないと議会中にもめた経緯があります。今度は、資材の高騰などの背景があるとして「増額」を

求める議案提出となりました。もつと規模の縮小をして予算内に収まる増築が出来ないかなどの変更を迫りましたが、最小限の規模であるとの回答です。結局可決となりましたが、1億5千万近い予算で直すとなればそれなりの覚悟の運営計画が必要です。

### 村有財産の処分可決

三陸沿岸道路工事に必要な土地等が売却となります。土地の所在は、第19地割字白井77、92付近の山林、雑種

地で約13400㎡、1千977万円ぐらいの売却額となります。



処分位置図

### 主な質問

#### 津波避難路

**問** 堀内・沢地区避難路整備事業3150万円の内容は。  
**答** これまで5250万円で工事をいう予定だったが、設計変更により3150万円追加となった。先に沢地区の避難路から整備する。総延長約280mで階段部分が約40m、巾は1・2mだ。



避難路を整備する沢漁港

#### 県民参加の森づくり

**問** 森林税という県税を納めている。県民参加の森づくり促進事業は、本来森林の育成に活用すべきでは。

**答** 普代村でも、約120万円納税している。どういうかたちで有効活用ができるのか今後検討する。



間伐が必要な森林

#### くろさき荘改築始まる

**問** くろさき荘の改築費を当初予算で議決したが着工していない。さらに今回2800万増額の提案で総額1億5000万円にもなる。くろさき荘の必要性はみとめるが経営継続の村長の決意を示せ。  
**答** くろさき荘は普代村の観光にも重要な施設であることは認めていただいていると思っっている。今後進められるみちのく潮風トレイルやジオパークなどにも取り組み、県や近隣市町村とも連携していく。施設の改修もみなさんと

協議し進め継続して経営できるように努める。

#### 三陸沿岸道

**問** 三陸沿岸道路の普代村内での工事で住宅移転もあると聞いている。村内の路線がどのような設計になっているか状況を伺う。

**答** 今回提案した議案の内容は、村有地1万3400平方メートルを1977万円で三陸国道事



建設が進む三陸沿岸道路

務所へ売却するものだ。村内の道路全体については、あとで設計図面を示して説明する。

## 補正予算審議

補正予算の審議は、各項目について、ひとりの議員が3回まで質問を許されます。その予算の詳細や必要性について質問し可否を議決します。

## 三陸沿岸道路の路線説明求める

### 主な12月補正予算の状況

会計名	補正額	補正後の予算額
一般会計	5,276万円	31億6,855万円
国民健康保険特別会計	1,011万円	5億2,621万円
簡易水道特別会計	370万円	8,960万円
休養施設事業特別会計 (くろさき荘)	2,788万円	2億6,998万円
休養施設事業特別会計 (緑の村)	133万円	707万円

# 東電に賠償求める

平成23年3月11日に発生した、東京電力福島第一原子力発電所事故の放射性物質による影響対策のために、かかった費用の損害賠償を求め、村はこれまで県や各市町村と一緒に、4回損害賠償を請求し、完全保障を求めて来ました。

しかし、東電の具体的な説明がないまま対象外とされ、1円も賠償されていません。そのため、公的機関の原子力損害賠償紛争解決センターに申し立てするものです。

## 電子力損害賠償紛争解決センターへの和解仲介申立について

**1 和解仲介申立て額 4,025,812円**  
原子力損害賠償紛争解決センターの和解仲介を申し立てる額は、平成23年度から平成24年度まで放射性物質による影響対策に要した費用の総額4,025,812円とする。

なお、平成26年1月の申立てまでに東京電力株式会社と一部支払に合意した場合は額を除いた額で申立てを行う。

## 2 影響対策に要した費用の内訳及び東京電力株式会社の賠償可否理由

区分	賠償請求項目及び金額
賠償対象	無し
保 留	3,583,444円 ①空間線量測定器リース料 401,944円 (リース期間：H23.8.1～H24.3.31)
	②空間線量測定機器購入費 432,600円 (購入年月日：H24.4.2)
	③食品放射能検査装置購入費 2,748,900円 (購入年月日：H24.10.19)
賠償不可	442,368円 ④水質検査委託料 92,400円 (検査年月日：H24.7.23)
	⑤人件費 349,968円 (対象に従事した職員及び期間：7人270時間)
合 計	4,025,812円

賠償可否理由
①及び②については、賠償対象期間が平成23年3月11日から平成23年12月31日までとなっており、政府指示によるものではない。
③については、政府指示によるものではなく、かつ、生産者や取引先の要望により負担を余儀なくされ購入したのではない。
④については、岩手県内は対象外である。
⑤については、その事実とその関係を通常業務と切り分けて証明できる場合に、かつ、合理的な範囲での支給を対象としている。

**3 東京電力への損害賠償請求に係る今後のスケジュール**  
平成26年1月中旬 「原発ADR」へのあっせん申立て  
平成26年1月下旬 東京電力への第五次損害賠償請求  
(～平成26年度) 「原発ADR」における審議

# 一般質問

12月定例議会の一般質問は12月18日に行われました。内容を要約してお知らせします。

一般質問は、議員個人が村長、教育長など村の執行機関に対し、執行状況や将来の展望などについて問いたたすことです。普代村では、制限時間を一人一時間以内としています。

## 質問項目

- 中上一登議員
- 観光、産業振興策について
- 道徳教科化について
- 小中一貫校建設移転の展望について
- 中学校テニスコート移転について



## 観光・産業振興の具体策は

中上 議員

## 公社設立などの環境づくりの段階

証屋 村長

中上議員

村周辺の道路整備も進み、村の観光、産業振興はますます重要な課題となる。早く具体的な動きにする必要があると思うが、具体策を持ち合わせているか伺う。

証屋村長

政策課題推進事業として公社設立に向けた方策づくりと、村民の意識醸成に取り組んでいる。検討、検証段階であり、本年度は具体的な手続き作業には着手していない。将来的には、水産物の食品加工と六次産業化も担うものになることを望んでいる。

中上議員

特産品づくり、観光などについての情報発信が役場部署でばらばらであり、専門的組織が必要ではないのか。



「冬の市」歩行者天国の様子

証屋村長

漁協、商工会、農協、森林組合、観光協会など民間的なところと村がもっと近づき繋がっていくためのソフト部門的な取り組みから思っている。その中でももろの体制づくりへ支援していく。12月に国道を通行止めにして行われた「冬の市」のイベントも定期的なお祭りにしていけば不可能ではないと思っっている。街中の活性化のためにも商工会と一緒に取り組んでいく。

## 道徳の教科化

### 心の評価の危険

中上議員

文科省は道徳教育を教科化して評価する方針である。子どもたちの心を評価することになるが、教育長の見解を伺う。

熊坂教育長

普代村では急に今般多くなつたとは捉えていない。いじめの減少のために道徳教科化が成果があるという趣旨で提言されていると思うが、私自身は別のところに問題があると思う。道徳の時間だけでなく理科や社会の中でも道徳教育が普代小学校でも行われている。

熊坂教育長

現行の学習指導要領でも、「道徳の時間に関して数値などによる評価は行わないとする」とされている。「道徳性」は不意に数値などによる評価は適切でないと考える。教員養成、研修の在り方なども含め、子ども主体の評価方法を模索する十分な時間を取って欲しいと願っている。



小学校の運動会

# 復興着々と

12月5日、総務常任委員会（小屋敷委員長）と産業経済常任委員会（森田委員長）は合同で復興状況の行政視察を行いました。

## 普代浜周辺

河川、河口は県の管理地となつているため、県が復旧を進めることとなります。キャンプ場と元プール周辺は26年度以降、環境省の指導のもと復旧が進められる計画となっております。



## クレインドック

船の修理、メンテナンスのための施設で最大60tまで上げることができる施設です。これまでは施設のある港まで行っていたのが解消されまです。ドック前に船の格納庫も建設される工事が左の写真です。



## 漁協加工場

今年度末の引き渡しに向けて工事が進行中です。

冷蔵	200t
冷凍	28t
事業費	8億2400万円



## ふ化場

普代川サケふ化場は水量不足のため田野畑村漁協と普代村漁協を合わせた分の施設規模で、田野畑村が明戸川沿いに復旧して稚魚をふ化させることになりました。施設は県、国の補助ですが、運営費は漁協が折半で負担していきます。それぞれ600万尾の放流となっております。



## 久慈地区市町村連絡協議会

25年11月27日（水）に、野田村のえぼし荘において**議員研修会・交流会**が開催されました。  
4市町村の議員58名のほか、来賓、事務局など約80名の参加となりました。

### 研修会

研修会では、「市民と議会の対話とコミュニケーション」をテーマとして、青森中央大学の専任講師、佐藤淳氏の講演がありました。  
以下、その内容をまとめます。  
皆様に議会が今どんな問題を抱えて、今後どうあるべきなのかということと一緒に考えて頂きたいと思えます。



◎ 議会改革は必要か？

◎ 議会のあるべき姿とは？

- ▼ 多様な民意の反映
- ▼ 緊張感を持った執行部との協関係
- ▼ 議会の権限、役割を十分果たす
- ▼ 政策形成過程全般への積極的関与

【住民のイメージ】  
議会、議員は  
▼ 何をやっているか「分からない」

▼ 裏で悪いことが行われている  
→ 「活」  
▼ ならば「いらなく」

住民との対話、「ミニミニ  
ケーション」の場が必要

住民と議会との  
「ミニミニケーション」の  
手段とは？

- 傍聴
- 議会だより
- 議会報告会
- 議会のホームページ
- 議会の映像公開

「開かれた議会」の推進

まとめ

この中で特に「議会だより」の取り組みについての先進事例が紹介されました。  
「議会だより」が各議会で力が入られ、紙面の工夫、



研修会の様子

住民登場によって、大きな対話の手段となっています。

さらに議会の向上のために、「議会報告会」や、「議会基本条例」の制定に取り組んでいます。

「議員間討議」も取り入れる議会は議員同士の「ミニミニケーション」も図られています。

それが議会だより、報告会へと影響し、精度の高い住民との対話が形成されていくようです。

※ 議会基本条例  
議会の「最高規範」といえるもの。

条例に、あるべき姿を宣言し住民に約束する。北海道夕張市の破綻を契機として、襟を正そうと隣の栗山町議会が2006年に初めて制定し、その後各地で広がりを見せている。

※ 議会報告会

普代村では、昨年2月に初めて実施した「住民との意見交換会」がこれにあたります。  
まだ模索状態で、条例化にはなっておりません。行政の「村政懇談会」との違いを明確にしておく必要がある。

※ 議員間討議

議員同士による「自由討議」。一方的な執行部への質問はあるが、議員同士が議論し、決定していく議会は少ない。

# 村民と議会との意見交換会

平成26年1月7日全員協議会が行われました。

いくつかの協議の中で、昨年2月にも行われた「村民との意見交換会」についても話し合いました。

村政懇談会との立場の違いを明確にして進めるには、どう進行すればいいか意見を出し合いました。中々全員が納得のいく結論は出ませんでしたが大筋合意ということで、改めて打ち合わせということになりました。

日程と2班に分かれたメンバー構成は以下のとおりです。

**日程**  
**2月4・5日**

## A 班

小屋敷亮二郎  
中上 一 登  
小中居 敏 光  
熊谷 有 耕  
大上 浩 史

## B 班

森 田 幸 一  
坂 下 重 雄  
中 村 裕 裕  
金 子 泰 男

※回る地区は昨年と交代してお伺いします。時間帯もほぼ同じ予定ですがお知らせが回りますので確認して、多くの参加をお願いします。



子ども園の子ども達が長縄跳びに挑戦する直前の写真です。

## 表紙の写真



協議の様子

## 議会の主な動き抜粋

### 11月

7日・議会広報常任委員会(役場)

7日・岩手県議会東日本大震災津波復興特別委員会現地調査(役場・村内)

18日・三陸沿岸道路尾肝要普代道路起工式(柏木平地区)

22日・議会全員協議会(役場)

27日・議会運営委員会、普代村議会第8回臨時会(役場)

### 12月

13日・議会運営委員会(役場)

18日・普代村議会第9回定例会(役場)

### 1月

4日・漁協市場初売り式(大田名部漁港)

5日・普代村成人式(管理センター)、新年交賀会(くろさき荘)

7日・全員協議会(役場)

12日・普代村消防団出初式(普代駅前)

16日・議会広報常任委員会(役場)

18日・普代商工会創立50周年記念事業(くろさき荘)

## ありがき



▼今年には色々な事があった。中でも長年の念願であった普代新道が完成し喜びにわいた。しかし、村は静かで安全になったが、業種によっては、手放して喜べない部分も有り、世の常とはいえ、あちら良ければ、こちら良からずと今後課題も残ったかと思う。

▼十二月に商工会主催で、初の試み、歩行者天国が開かれ盛況であった。地域活性のため「大イベント」として継続、根付くことを期待したい。(坂下)

## 議会広報常任委員会

委員長 中上 一 登  
副委員長 森 田 幸 一  
委員 坂 下 重 雄  
小中居 敏 光

## ふだい議会だより No.126

発行日 平成26年1月30日  
発行集 普代村議会  
編集 議会広報常任委員会  
〒028-8392  
岩手県下閉伊郡普代村  
第9地割字銅屋13番地2  
TEL 0194☎2118  
FAX 0194☎2712  
印刷 有限会社 九戸印刷